

WebClass動画教材(Mediasite)作成マニュアル

このマニュアルは、WebClassに 動画教材(Mediasite)を作成するためのマニュアルです。
以下の内容は動画教材として公開するまでの手順を説明しています。

- 1.WebClassにアクセスし、動画配信資料を掲載するコースを開きます。
- 2.「教材を作成する」を開き、「LTIツール」を選択します。

教材を作成する

資料	資料を作成します。
レポート	レポート提出課題を作成します。
テスト	テストを作成します。Hotpotatoes 教材もこちらから取り込みます。
アンケート	アンケートを作成します。
問題抽出機能	既存のテスト/アンケート教材から設問を抽出してテストを作成します。
掲示板	掲示板を作成します。テーマに沿って意見や質問などを投稿し、議論する場として適しています。
Wiki	Wikiを作成します。複数人共同でページを作成/編集可能です。
チャット	チャットを作成します。リアルタイムにコミュニケーションすることが可能です。
eポートフォリオ・コンテナ	成果物への評価活動により、気づきの誘発を支援します。
ユニット	複数教材の実施順序の指定や、テストで合格点以上を取らないと次の教材を受講できないような設定が可能です。
学習カルテ	学生の情報を記録/管理し、先生と学生の間で共有します。
LTIツール	登録されたLTIツールから教材を作成します。 LTI設定画面を開く

WebClass 上の教材作成選択 画面

- 3.利用可能ツールから「My Mediasite」を選択します。
「変更を保存して終了」をクリックします。

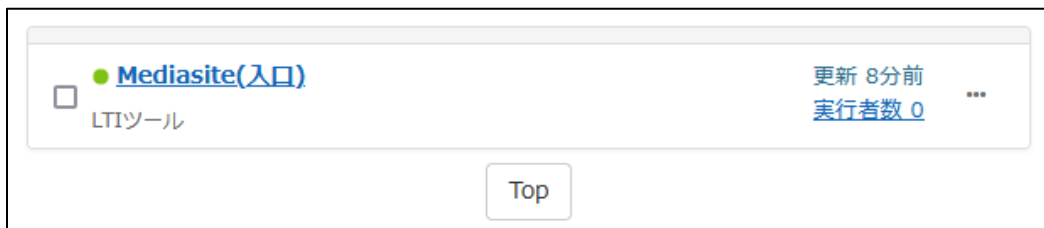
基本設定

ラベル ?	<input type="text"/>
(必須) タイトル ?	Mediasite(入口) <small>× 「<」を表示する場合は「&lt;」、 「>」を表示する場合は「&gt;」と入力してください。</small>
'New'マーク ?	<input checked="" type="checkbox"/>
(必須) 種別 ?	LTIツール ▾
利用可能ツール ?	My Mediasite ▾
データの送信を制限する ?	<input type="checkbox"/> 氏名 <input type="checkbox"/> メールアドレス

WebClass 上の教材作成 画面

4.教材一覧にMediasiteへのアクセスリンクが表示されます。教材をクリックします。

※教材の開始ページが表示された場合は、「開始」をクリックします。

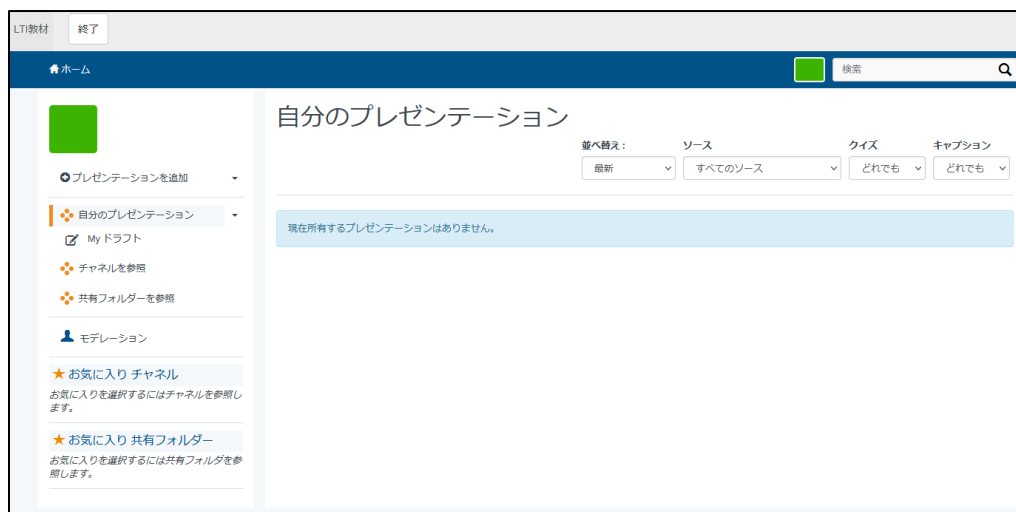


WebClass 上の Mediasite 教材 画面

5.Mediasiteのトップページ画面が表示されます。

※Mediasiteの認証はWebClassのアカウントを用いて連携しています。

アカウントごとの専用ページになります。



Mediasite トップページ 画面

6.画面左上部にある「プレゼンテーションの追加」をクリックします。



Mediasite トップページの左上部 画面

7.プレゼンテーションの追加画面に移動、「新しい映像のアップロード」をクリックします。



プレゼンテーションを追加 画面

8.アップロードしたい動画を選択し、「開く」をクリックします。



アップロードファイル選択 画面

9.「新規プレゼンテーション詳細」から以下を記載し、「プレゼンテーションを作成」をクリックします。

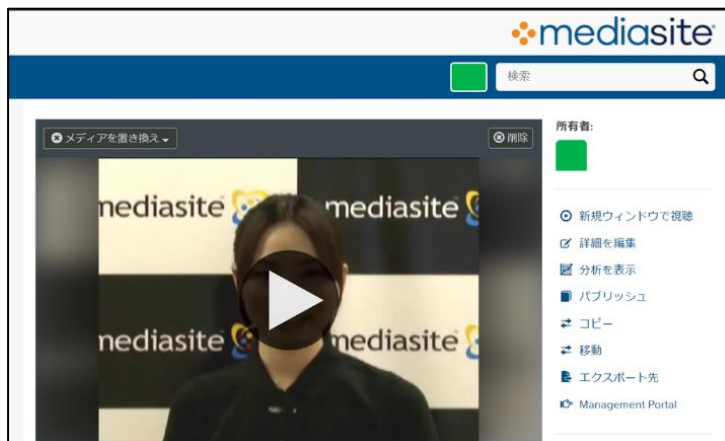
- 名前：プレゼンテーション名
- 説明：プレゼンテーションの説明
- 作成先：基本的にMy ドラフトを選択

※作成先にてアップロードする場所を選ぶことができます。

新規プレゼンテーション詳細 画面

10. アップロード完了後、「自分のプレゼンテーション」から視聴可能になったか確認します。

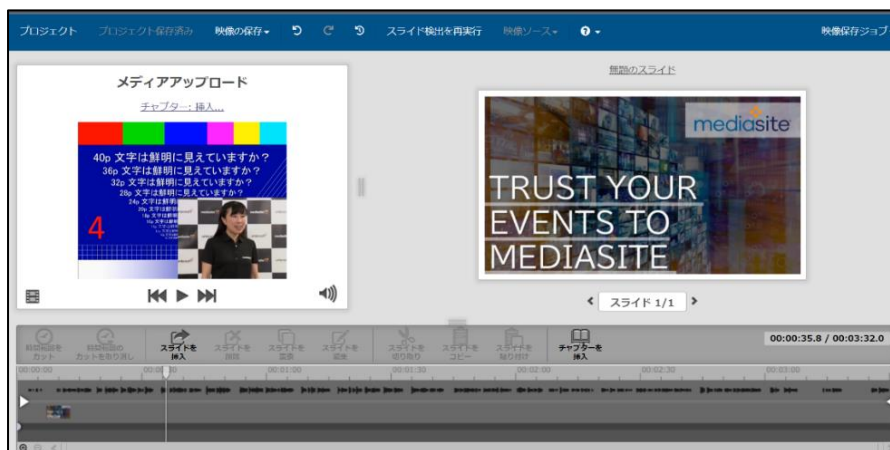
※データ量によって、視聴可能になるまでの時間は異なります。画面の再生ボタンから確認できます。



メディアアップロード完了画面

11. ブラウザ上にて簡易的な編集機能である「Web Editor」を使用することで、

メディアアップロードした映像のカットやスライドの挿入などの簡単な編集ができます。



Web Editor 画面

以下の編集が可能です。

映像のカット	前後カット、中間カット
映像効果	ディゾルブ、フェード
スライド編集	挿入、削除、置換、コピー、切り取り、貼り付け
チャプターを挿入	動画の任意の場所にチャプターを挿入可能
ウォーターマーク	映像に著作権に関するロゴなどを挿入可能

12. 編集の方法について以下の操作を行います。

My Mediasiteを開き、編集したいコンテンツのタイトルをクリックします。

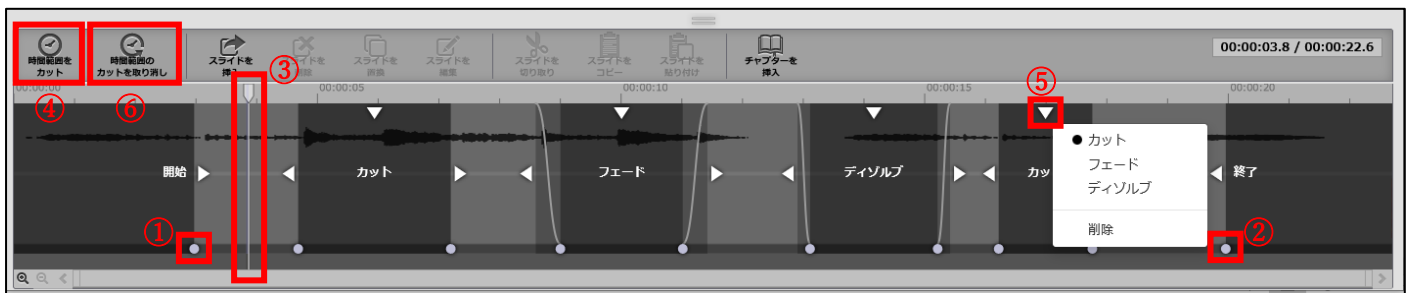
コンテンツの編集画面の右ペインの「映像を編集」または「スライドを編集」をクリックします。



「映像を編集」または「スライドを編集」画面

13. 「映像を編集」では以下の操作が可能です。

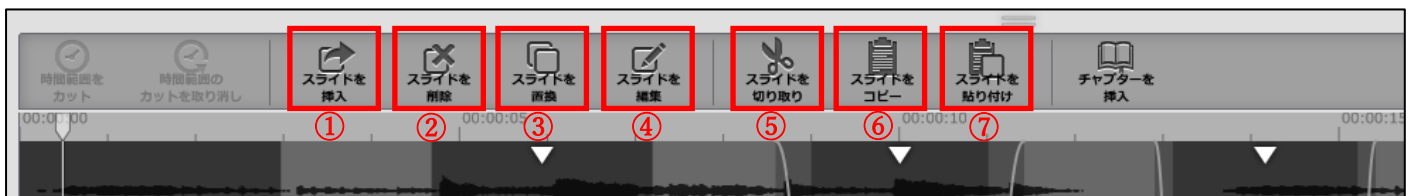
前後カット	Web Editor下部のタイムライン前後にある①・②をマウスで選択し、カットする範囲を選択することが可能です。また、ドラッグすることで「フェード」の効果をつけることもできます。
中間カット	映像をカットしたい範囲に③のバーをマウス選択で動かし、④の「時間範囲をカット」をクリックすることでカット範囲の指定が可能です。⑤をクリックすると「フェード」、「ディゾルブ」の映像効果を付けることができます。
カットの解除	カットを取り消す場合、カットを選択した状態で⑥の「時間範囲をカットの取り消し」をクリックするか、⑤の操作で「削除」を選択します。



映像のカット方法画面

14. 「スライドを編集」では以下の操作が可能です。

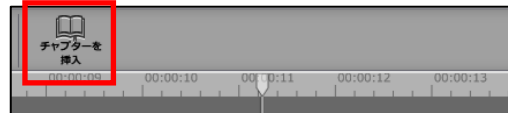
スライドを挿入	スライドを挿入したい箇所にマウス選択し、①をクリックします。
スライドを削除	削除したいスライドを選択し、②をクリックします。
スライドを置換	置換したいスライドを選択し、③をクリックします。
スライドを編集	編集したいスライドを選択し④をクリックします。 スライドに名前と説明の追加が可能です。
スライドをコピー	コピーしたいスライドを選択し、⑥をクリックします。
スライドを貼り付け	貼り付けの場合は、貼り付けたい部分にマウス選択し、⑦をクリックします。



スライドの編集方法画面

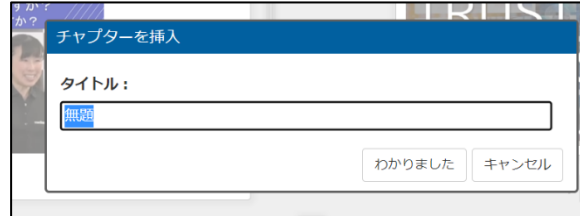
15. チャプターの挿入

チャプターを挿入したい部分にスライダーを移動し、「チャプターの挿入」をクリックします。



チャプターを挿入 画面

チャプター挿入のタイトルを設定し、「わかりました」をクリックします。



チャプター挿入タイトル設定 画面

チャプターが挿入されます、挿入したチャプターをクリックすると「チャプター名を変更」か「チャプターを削除」が選択できます。

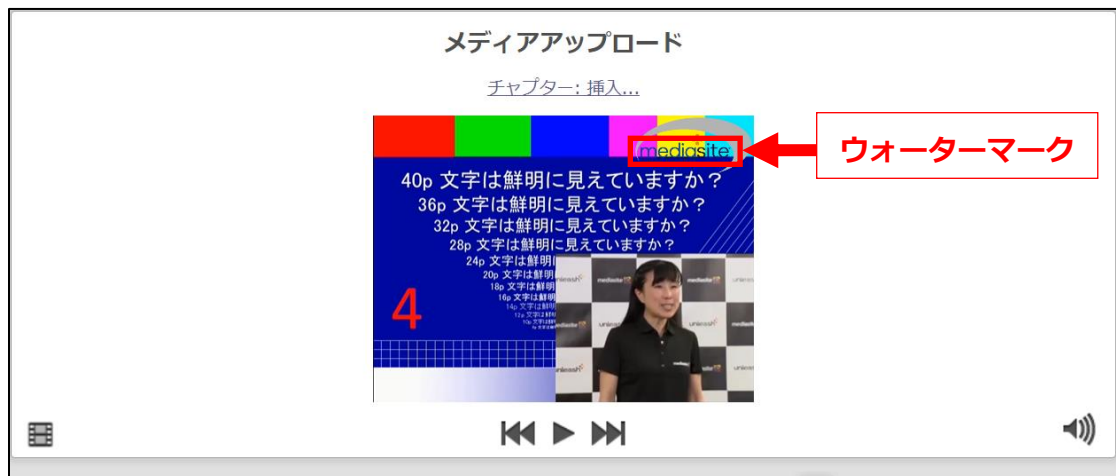


チャプター名変更・削除 画面

16. ウォーターマーク(透かし)の挿入

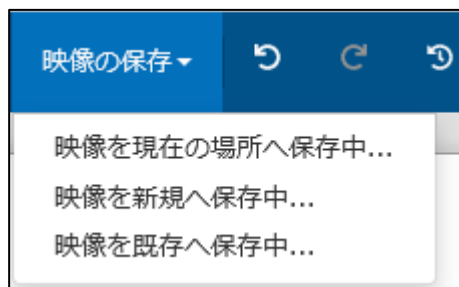
ウォーターマークとは、透かし文字を映すことで、不正な画面キャプチャによる情報漏洩を防止することが期待できます。ウォーターマークを入りたい範囲にマウス選択し、キーボードで「Ctrl」+「M」をクリックします。挿入したいウォーターマークを選択し、挿入します。

※ウォーターマークを入れる位置は、Editor内でマウス移動させることが可能です。また、大きさも変更することができます。



ウォーターマーク挿入 画面

17. コンテンツの編集が終わったら、「映像の保存」をクリックします。

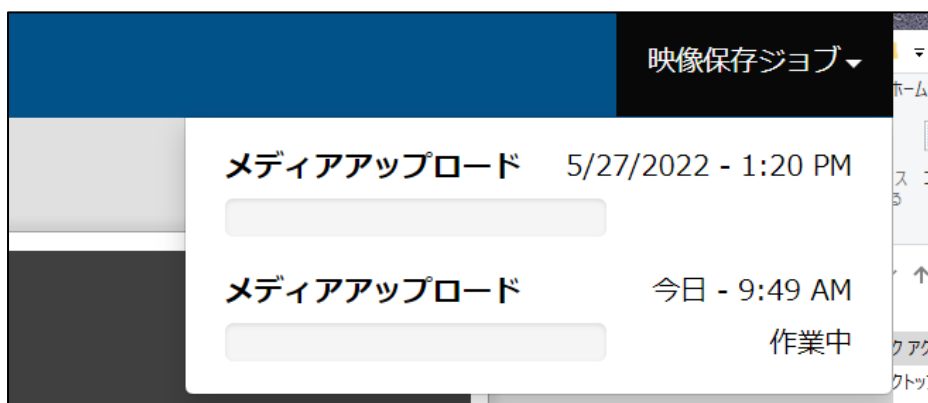


映像の保存画面

映像を現在の場所へ保存中	上書き保存
映像を新規へ保存中	新しいプレゼンテーションとして保存
映像を既存へ保存中	既に存在している別のプレゼンテーションに上書き保存

※保存中のステータスは「映像保存ジョブ」から確認することができます。

保存が完了すると完了と表示します。



映像保存ジョブ画面

コンテンツを視聴確認して、編集が反映されたことを確認します。



編集後のPlayer画面

※アップロードした映像のみで映像を保存した場合、1画面で映像が表示されます。

スライドの挿入を行った映像を保存した場合は、アップロードした映像と挿入したスライドの2画面で映像が表示されます。

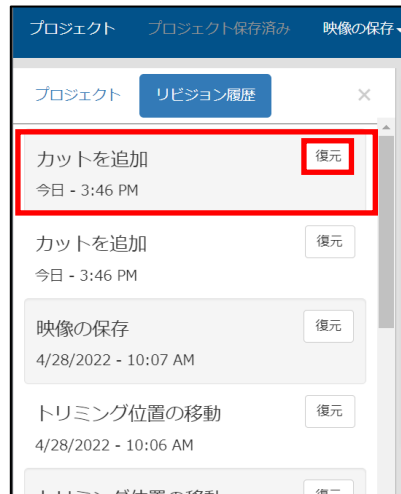
18. 編集を元に戻す

編集効果を戻したい場合は「リビジョン履歴」、一連の編集を戻す場合は「プロジェクト」の二つの方法があります。

リビジョン履歴	自動で生成された個別の編集を戻すことが可能
プロジェクト	一連の編集効果・複数の編集効果を手動で1つのプロジェクトとして保存し、一連の編集効果を戻すことが可能

リビジョン履歴からの復元(操作履歴からのやり直し)

画面左上の「プロジェクト」>「リビジョン履歴」から確認し復元することができます。



「リビジョン履歴」画面

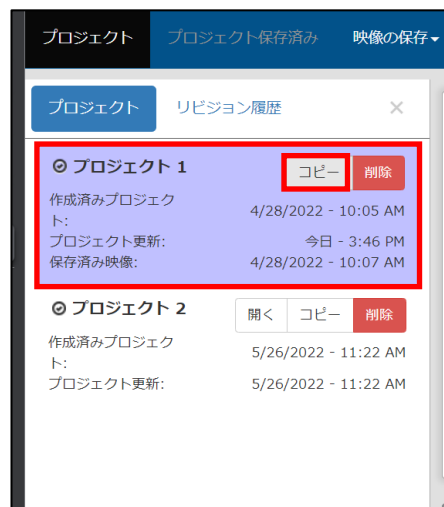
プロジェクトからの復元(一連の編集を戻す場合からのやり直し)

画面左上の「プロジェクト」>「プロジェクト」から確認できます。

「コピー」を選択すると現時点からの新しいプロジェクトとして複製ができます。

「削除」を選択するとプロジェクトの初期状態(プロジェクトとして作成された)に戻ります。

※リビジョン履歴を含め削除されます、「削除」した操作は戻すことができません。



「プロジェクト」画面

19. コンテンツのURL発行

My Mediasiteの「自分のプレゼンテーション」から配信するコンテンツを選択します。
右ページの「プレゼンテーションを共有」をクリックします。



プレゼンテーションの共有 画面

20. クイックリンクの「コピー」をクリックし、URLをコピーします。



コンテンツ毎のURLコピー 画面

21. 再度WebClassに戻り、動画資料を掲載するコースを開きます。
22. 「教材を作成する」を開き、「LTIツール」を選択します。

教材を作成する

- [資料](#) 資料を作成します。
- [レポート](#) レポート提出課題を作成します。
- [テスト](#) テストを作成します。Hotpotatoes 教材もこちらから取り込みます。
- [アンケート](#) アンケートを作成します。
- [問題抽出機能](#) 既存のテスト/アンケート教材から設問を抽出してテストを作成します。
- [掲示板](#) 掲示板を作成します。テーマに沿って意見や質問などを投稿し、議論する場として適しています。
- [Wiki](#) Wikiを作成します。複数人共同でページを作成/編集可能です。
- [チャット](#) チャットを作成します。リアルタイムにコミュニケーションすることが可能です。
- [eポートフォリオ・コンテナ](#) 成果物への評価活動により、気づきの誘発を支援します。
- [ユニット](#) 複数教材の実施順序の指定や、テストで合格点以上を取らないと次の教材を受講できないような設定が可能です。
- [学習カルテ](#) 学生の情報を記録/管理し、先生と学生の間で共有します。
- [LTIツール](#) 登録されたLTIツールから教材を作成します。 [LTI設定画面を開く](#)

既存の教材から作成

WebClass 上の教材作成選択 画面

23. 種別にて「LTIツール」を選択し、利用可能ツールから「Mediasite動画URL設定」を選択します。
 ツールURLに手順.20でコピーした「クイックリンクのURL」を貼り付けます。
 「変更を保存して終了」をクリックします。

基本設定

ラベル

(必須) タイトル
「<」を表示する場合は「<」、
 「>」を表示する場合は「>」と入力してください。

'New'マーク

(必須) 種別

利用可能ツール

(必須) ツールURL

データの送信を制限する 氏名 メールアドレス

WebClass 上の教材作成 画面

24. 教材一覧に「Mediasite動画URL設定」として表示します。

<input type="checkbox"/>	● Mediasite(入口) LTIツール	更新 8分前 実行者数 0	...
<input type="checkbox"/>	● 動画教材_テスト1 LTIツール	更新 0分前 実行者数 0	...

Top

WebClass 上の Mediasite 動画 URL 設定 画面

以上が、統合映像プラットフォーム Mediasite(オンデマンド動画配信システム)の導入の説明になります。
その他操作については以下の内容を参照して下さい。

動画公開後の閲覧分析について

→別紙の「WebClass動画教材(Mediasite)閲覧分析マニュアル」を参照。

動画再生中のクイズ問題出題設定について

→別紙の「WebClass動画教材(Mediasite)クイズ出題設定マニュアル」を参照。